

新しい緊急時位置通報システムを導入予定 より迅速な救助をめざして

会員様からの救助要請時に一番重要なのは、自船の現在位置です。

不幸にして会員艇がトラブルに遭われた時には、電話でROC（レスキュー オペレーション センター：横浜の事務所内に設置）に連絡されるケースがほとんどですが、その際にROCのオペレーターからお名前や会員番号とともに現在位置を必ずお聞きします。現在位置が正確に判らないと、最寄りのRS（レスキューステーション：救助事業者）がどこなのか把握できないことから、結果的に迅速な救助手配にも大きく影響します。

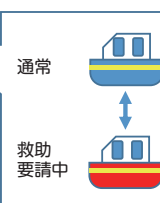
位置の通報には北緯、東経でお伝えいただくのが一番確実ですが、GPSプロッターの数値を読み取れない方もいらっしゃいますし、そもそもGPSプロッターを装備していなければデータはわかりません。そういう場合は〇〇島の沖等地形を基に連絡していただきますが、当然正確な位置とは誤差が生じますし、そのやりとりで5分10分はすぐ経ってしまいます。

最近の携帯電話（スマートフォンを含む）にはほとんどの機種でGPS機能が付いているので、これを利用して簡単に自船の位置をROCに知らせる手段として、「BANコール」という緊急時位置通報システムを3年前に開発し、現在運用していますが、まだまだ登録いただいていない会員様が多いのは残念です。

さて、現在の「BANコール」は会員

BAN アプリ利用イメージ

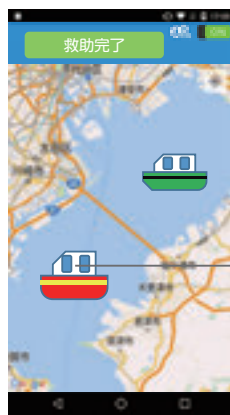
要救助者画面



「救助要請」を押下すると自動的にONになるが、電池消費を抑えるためにOFFすることもできる。
※送信OFFでも他者の位置情報は受信される

「救助要請」を押下すると、救助要請と現在の位置情報が管理PCに送信される。
※アプリの場合は以後の位置は自動更新される
※WEB（ガラケー）の場合は更新ボタンを押下により地図画像と位置アイコンが更新される

救助者画面



管理PCで割り当てられた要救助者の位置情報がマップに自動表示

艇の救助要請位置がROCのコンピュータ管理画面の地図上に表示されるものの、その後の時間的経過による位置の移動や救助船の位置等は把握できないという短所がありました。

しかし、IT技術の発展に伴い

◆救助要請者の位置をリアルタイム（何分かおきでも可）に把握し、それを地図上に表示する。

◆救助に向かう救助船の位置も同じくリアルタイム（何分かおきでも可）で把握し、これら両者の位置をROCのパソコンの地図画面上に表示する。

◆救助者及び救助要請者でもROCと同様の地図画面を携帯電話等で見ることができる。

というようなサービス提供が可能であることが判りましたので、この新しい位置通報システムとでも言うべきサービスを導入する予定で現在種々検討中です。

このシステムが稼働し会員の皆様方がご利用されることで、迅速な救助手配や救助船との会合時間の短縮につながる事が予想されますので、来年のサービス提供開始にご期待ください。